

令和4年度の事業報告

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人
エコパートナーとっとり
理事長 大野木 昭夫

(1) とっとり自然環境館の事業成果

1 平成25年(2013年)10月20日に開館した「とっとり自然環境館」の運営・管理を鳥取米子ソーラーパーク株式会社から受託して行っており、入館者数は当初 増加傾向であったが、令和2年度(2021年)から猛威を振るった新型コロナウイルスの影響を受け、以前のように気軽に立ち寄ってもらうことができない状況が続いている。

そのため学童保育や幼稚園などの特定の団体に声を掛け、その団体のみが使用するように入館者の確保に努めた。入館に際しては前年度に引き続いて個人情報を求めるほか、検温、手指の消毒、ウイルス除去装置により万全の感染防止対策を図った。

入館者数は令和4年2月1日から令和5年1月31日まで10,305人であったため、インセンティブ契約に基づき、鳥取米子ソーラーパーク株式会社からインセンティブ55万円を受領した。また、鳥取米子ソーラーパーク(株)は当館が日頃から行っている小学生の体験活動を文部科学省に報告して、令和4年度青少年の体験活動推進企業表彰による審査委員会優秀賞を受賞した。

2 鳥取県と再生可能エネルギー体験学習実施業務を令和4年4月1日に契約し、小学生を対象にしたエネルギー教室、県内のエネルギー施設と観光地を巡るエコツアーを実施したほか、昨年度設立した「エコとりクラブ」の会員にeラーニングを活用して再生可能エネルギーの理解と環境教育を引き続き行った。また、再生可能エネルギー体験設備の整備を行うとともに、スタッフへ県内の再生可能エネルギー施設の視察研修と外部講師による研修を行って入館者への満足度の増進を図った。

年度別入館者数

月	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
4		830	590	1,052	1,388	1,249	1,676	341	919	1,013
5		730	994	1,020	2,309	1,418	3,672	102	910	973
6		794	691	1,169	1,659	1,778	949	246	780	490
7		560	1,514	2,938	2,271	1,844	1,935	271	761	638
8		725	1,368	1,174	1,606	1,396	1,331	538	1,102	1,314
9		748	937	1,216	1,566	833	784	293	1,045	589
10	103	1,290	1,677	1,562	1,655	2,331	2,058	526	1,245	1,461
11	494	1,587	1,252	1,219	1,561	992	824	721	1,177	1,017
12	208	583	820	532	626	552	429	544	627	946
1	221	704	767	631	193	486	546	315	538	584
2	826	492	602	722	743	570	1,003	606	294	635
3	655	472	1,178	906	1,098	727	1,171	726	986	918
年度計	2,507	9,515	12,390	14,141	16,675	14,176	16,378	5,229	10,384	10,578

事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	(A)事業実施日 (B)事業実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	活動計算書の事業費の金額(単位:千円)
① とっとり自然環境館運営に関する業務委託	鳥取米子ソーラーパーク(株)が運営する環境教育施設「とっとり自然環境館」の運営管理を行った。	(A) 令和4年4月1日 ~令和5年3月31日 (B) とっとり自然環境館 (C) 5人	(D)一般市民 (E)入館者 10,578人	15,899
② 再生可能エネルギー体験学習実施業務	小学生を対象のエネルギー教室 20 回、年代制限のないツアー型体験講座 6 回、再生可能エネルギー体験設備等の整備と広報活動を行った。	(A)令和4年4月1日 ~令和5年3月31日 (B)とっとり自然環境館 (C) 5人	(D)一般市民 (E)教室 330 人(小学生) エコツアー187人	2,040

(2) 鳥取県地球温暖化防止活動推進センターの事業成果

令和4年4月1日より、鳥取県から地球温暖化防止活動推進事業を受託して、「ゼロカーボンとっとり」の名称で活動を開始した。

業務の取り組み方針は、「県内の地球温暖化防止活動を推進して、県民の地球温暖化防止に関する意識の向上とその活動を県内に拡大する」とした。

成果としては、県民の地球温暖化防止に関する意識の高揚を図り、自らができる身近な活動を通して県下に幅広く浸透する活動をした。県民の皆さんには地球温暖化に対する行動意識を幅広く啓発できた。

個別業務としては、

- (1) 県地球温暖化防止活動推進員(以下、エコサポーターズ)の育成と継続教育事業
- (2) とっとり環境・学習アドバイザーの発掘と相互の情報共有事業
- (3) 地球温暖化防止活動の促進事業

を掲げ、年間を通して実施した。

(1) 県地球温暖化防止活動推進員(以下、エコサポーターズ)の育成と継続教育事業について

地球温暖化防止活動には、エコサポーターズのリーダーシップが不可欠であった。各人の情報共有を通して協働関係を築き、活動の幅を広げるために、エコサポーターズへの情報発信と集合教育を実施して知識向上を図った。

併せて、とっとり自然環境館に常設展示場を設けて、来館者に地域の温暖化防止活動を周知するとともに、参加を呼びかけた

(2) とっとり環境・学習アドバイザーの発掘と相互の情報共有事業について

アドバイザーの専門知識を情報共有して、県民の地球温暖化防止活動に対する支援をした。職域では、企業の持つ地球温暖化防止に関する技術力を収集した。学校等では、アドバイザー活動の一環として、地球温暖化防止活動の教育を支援し、アドバイザーを紹介した。

これらのアドバイザー研修を通して、県内の地球温暖化防止活動のレベルアップを図った。

併せて、とっとり自然環境館に常設展示場を設けて、来館者に地域の温暖化防止活動を周知するとともに、参加を呼びかけた

(3) 地球温暖化防止活動の促進事業について

地球温暖化防止活動では、センター独自の地球温暖化防止活動推進キャンペーンを企画、実施した。

併せて、とっとり自然環境館内に紹介ブースを設け、県内外へ情報発信をした。

○(1)～(3)の追加として、鳥取県と連携して、とっとりエコライフキャンペーン、特設サイトの作成、情報発信と利用促進を実施した。

(1) エコライフキャンペーンの実施

(ア) 幼児およびその親子に対するフリーペーパーを活用した環境啓発

・フリーペーパー「スクスクめいと」秋号と冬号において、マイホームの購入率の高い世代である親子（幼児向け）向けに、「鳥取スタイルPPA」と「とっとり健康省エネ住宅（NE-ST）」の鳥取県が特に推奨する事業の紹介やとっとりエコライフキャンペーンの情報発信による普及啓発をした。

(イ) 小学生に対する夏休み中の家庭内での環境実践の実施

・県内全小学校に対してこどもゼロカーボンチャレンジのタブロイド冊子を全児童に配布し、夏休みに家族で取り組む「こどもゼロカーボンチャレンジ」を実施した。

(ウ) 小学生に対する再生可能エネルギー施設のツアー及びワークショップの開催

・東部と西部地域でそれぞれ7月30日と31日に自然エネルギー施設を視察する再エネツアーを予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大により鳥取県と協議の上中止した。参加者には当日配布資料を郵送し、夏休みの自由研究素材として提供するとともに、ホームページ（新日本海新聞社）などで公開した。

・7月31日にとっとり自然環境館（米子市）においてソーラーカー工作などのワークショップを開催した。

(エ) 「とっとりエコライフ構想」のロゴマーク作成

・鳥取県が脱炭素社会実現に向けて進めている「とっとりエコライフ構想」のキャッチコピー及びロゴマークを作成した。

(オ) 省エネ家電への買換促進するキャンペーン

・省エネ家電（冷蔵庫、テレビ、エアコン）へ買替促進する「省エネ家電買い替えチャレンジ」を実施した。

(カ) エネルギーシェアスポットの普及促進にかかるキャンペーン

・SNSを活用し、クールシェアスポットとウォームシェアスポットをPRする「SNSフォトチャレンジ」を実施した。

(キ) その他、県等が実施する取り組みに対して相乗効果を図るためのキャンペーン

・「WEB版うちエコ診断」を活用して省エネに取り組んでいただく「省エネ実践チャレンジ」を実施した。

(ク) 冬季における節電促進に係るキャンペーン

・節電グランプリを実施期間11月10日～1月31日で開催した。

(2) 特設サイトの作成

・キャンペーンにかかる特設サイト「とっとりエコライフキャンペーン」を作成し、鳥取県地球温暖化防止推進センターにおいて管理するとともに(1)にかかる情報について、ホームページにおいて掲載した。

(3) 情報発信と利用促進

- ・特設サイトにおいて、随時情報を更新
- ・キャンペーンに係る総括チラシ1種を作成して、新聞折込を1回実施(11月26日)
- ・パンフレット2種を作成して、イベント等において配布
- ・協賛企業を募りながら、参加賞等を用意し、それぞれのキャンペーンへの参加促進を実施
- ・県と協力の上、ゼロカーボンとどどりのSNS(ツイッター、フェイスブック)を活用して情報発信
- ・WEB広告(ヤフー、ツイッター、フェイスブック)を活用したWEB広告を実施
- ・WEB媒体「とっとりずむ」を活用したWEB記事を掲載

事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	(A)当該事業実施日 (B)当該事業実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	活動計算書の事業費の金額 (単位:千円)
① エコサポーターズ)の育成と継続教育事業	エコサポーターズが情報共有できる場の提供と、集合教育を実施した。	(A) 令和4年11月22日、 令和4年11月24日 (B) エスジーズ会議室、県民ふれあい会館 (C) 8人	(D) エコサポーターズ、一般県民 (E) 89人	3,097
② とっとり環境・学習アドバイザーの発掘と相互の情報共有事業	アドバイザー研修を通して、県内の地球温暖化防止活動のレベルアップを図った。	(A) 令和4年10月22日、 令和4年10月24日 (B) エスジーズ会議室、県民ふれあい会館 (C) 8人	(D) アドバイザー、一般県民 (E) 89人	302
③ 地球温暖化防止活動の促進事業	センター独自の地球温暖化防止活動推進キャンペーンを企画、実施した。	(A) 令和4年4月1日 ~令和5年3月31日 (B) ゼロカーボンとっとり (C) 5人	(D) 一般県民 (E) 不特定多数	411
④ キャンペーン事業	県と連携して、各種のキャンペーン実施と特設サイトで情報を発信した。	(A) 令和4年4月1日 ~令和5年3月31日 (B) ゼロカーボンとっとり (C) 5人	(D) 一般県民 (E) 不特定多数	6,505

(3) 特定非営利活動に係る事業成果

通常総会は、令和4年5月23日に開催して、前年度の事業報告と今年度の予算・事業計画を審議して承認された。

新エネルギーの普及啓発・導入促進事業について

中海体験クルージング実行委員会が主催する「中海環境フェア」は2年間開催が見送られた。令和4年8月27日（土）に実施が決まったが、急遽無観客の実施に変更されたため、出展団体は個々でインタビューを受け、その様子は後日に中海テレビ放送で放映された。

事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	(A)事業実施日 (B)事業実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	活動計算書の事業費の金額（単位：千円）
通常総会	前年度の事業報告と今年度の予算・事業計画を審議して承認された。	(A)令和4年5月23日 (B)エスジーズ会議室 (C) 10人	(D)理事、監事 (E) 10人	0
⑤ 新エネルギーの普及啓発・導入促進事業	新型コロナの影響で、ビデオ出演で実施された。	(A)令和4年5月28日 (B)米子食品会館 (C) 4人	(D)一般市民 (E)不特定多数	0

活動計算書

2022年 4月 1日から 2023年 3月31日まで

(単位：円)

科目	予 算	決 算	予算差異
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員会費	20,000	20,000	
受取会費計	20,000	20,000	
2. 受取寄付金			
3. 受取助成金等			
4. 事業収益			
とっとり自然環境館運営に関する業務委託	15,639,180	16,290,563	△651,383
再生可能エネルギー体験学習実施業務	2,000,000	2,000,000	
地球温暖化防止活動推進事業	8,050,000	17,546,300	△9,496,300
事業収益計	25,689,180	35,836,863	△10,147,683
5. その他収益			
受取利息	20	87	△67
雑収入		546,747	△546,747
その他収益計	20	546,834	△546,814
経常収益計	25,709,200	36,403,697	△10,694,497
II 経常費用			
事業費			
(1) 人件費			
給料手当	8,260,000	6,778,059	1,481,941
臨時雇賃金	380,000		380,000
法定福利費	800,000	598,493	201,507
通勤費	500,000	474,180	25,820
福利厚生費	500,000	455,224	44,776
人件費計	10,440,000	8,305,956	2,134,044
(2) その他の経費			
業務委託費		3,106,373	△3,106,373
印刷製本費	170,000	247,224	△77,224
会議費	60,000	94,576	△34,576
旅費交通費	180,000	479,427	△299,427
通信運搬費	310,000	184,533	125,467
消耗品費	1,200,000	3,716,843	△2,516,843
備品	1,250,000	1,182,817	67,183
広告宣伝費	1,000,000	7,307,880	△6,307,880
修繕費	430,000	793,311	△363,311
貸借料	2,120,000	2,377,989	△257,989
事務手数料	1,958,000	3,638,000	△1,680,000
交際費	100,000	236,194	△136,194
保険料	5,000	5,000	
諸会費		40,000	△40,000
租税公課	1,168,090	1,641,800	△473,710
研修費	3,680,000	325,690	3,354,310
支払手数料	22,000	12,278	9,722
支払寄付金	10,000		10,000
雑費	747,600	1,962,630	△1,215,030
その他の経費計	14,410,690	27,352,565	△12,941,875
事業費計	24,850,690	35,658,521	△10,807,831
管理費			
(1) 人件費			
福利厚生費		200,000	△200,000

人件費計		200,000	△200,000
(2)その他の経費			
修繕費		59,620	△59,620
賃借料	30,000	28,805	1,195
保険料	1,000	1,000	
諸会費	25,000	22,000	3,000
支払手数料	130,000	117,365	12,635
その他の経費計	186,000	228,790	△42,790
管理費計	186,000	428,790	△242,790
経常費用合計	25,036,690	36,087,311	△11,050,621
当期経常増減額	672,510	316,386	356,124
Ⅲ経常外収益			
Ⅳ経常外費用			
Ⅴ経理区分間振替額			
税引前当期正味財産増減額	672,510	316,386	356,124
法人税・住民税及び事業税	2	145,210	△145,208
当期正味財産増減額	672,508	171,176	501,332
前期繰越正味財産額		1,878,740	△1,878,740
次期繰越正味財産	672,508	2,049,916	△1,377,408
指定正味財産増減の部			
次期繰越正味財産額	672,508	2,049,916	△1,377,408

貸借対照表

2023年3月31日

(単位 円)

勘定科目	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,728,580		
現金	429,176		
普通預金	1,399,386		
定期預金	900,018		
未収金	1,303,265		
前払金	100,000		
流動資産合計		4,131,845	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
(2)無形固定資産			
(3)投資その他の資産			
固定資産合計			
資産の部合計			4,131,845
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	583,495		
未払費用(社会保険)	76,650		
未払費用(労災保険)	11,488		
未払費用(雇用保険)	134,052		
未払費用(月末経費)	361,305		
預り金	137,634		
預り金(所得税)	36,513		
預り金(住民税)	7,600		
預り金(社会保険)	74,850		
預り金(雇用保険)	18,671		
未払法人税等	145,200		
未払消費税等	1,215,600		
流動負債合計		2,081,929	
2. 固定負債			
固定負債合計			
負債の部合計			2,081,929
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計			
2. 一般正味財産			
前期繰越正味財産		1,878,740	
当期正味財産増減額		171,176	
一般正味財産合計			2,049,916
正味財産の部合計			2,049,916
負債及び正味財産の部合計			4,131,845

財産目録

2023年3月31日

(単位 円)

資産・負債の内訳	金額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,728,580		
現金	429,176		
普通預金	山陰合同銀行/米子東支店	1,399,386	
定期預金	山陰合同銀行/米子東支店	900,018	
未収金	鳥取米子ソーラーパーク(株)	1,303,265	
前払金		100,000	
流動資産合計		4,131,845	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
(2)無形固定資産			
(3)投資その他の資産			
資産の部合計			4,131,845
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金		583,495	
未払費用 (社会保険)		76,650	
未払費用 (労災保険)		11,488	
未払費用 (雇用保険)		134,052	
未払費用 (月末経費)	KOA他	361,305	
預り金		137,634	
預り金 (所得税)		36,513	
預り金 (住民税)		7,600	
預り金 (社会保険)		74,850	
預り金 (雇用保険)		18,671	
未払法人税等		145,200	
未払消費税等		1,215,600	
流動負債合計		2,081,929	
2. 固定負債			
負債の部合計			2,081,929
正味財産			2,049,916